

エンドポイント・データ保護

エンドポイントのデータ保護もここ数年進化してきている。現在では多くのプロバイダーが、ラップトップだけでなく、様々な種類の機器からデータの保護と復旧を行えるようになった。

例えば、ユーザーがラップトップにあったデータを編集や共有のためにタブレットにリカバリーする、ということも可能だ。

これによって、ファイル同期共有製品のニーズの幾分かは消えてしまった。

また、多くのエンドポイント・バックアップ製品がリモート・ワイプ操作を実行できる機能を追加している。

この機能は、いくつかの企業で提唱されている、BYOD (Bring Your Own Device: 個人デバイスの会社持ち込み／業務使用) 普及活動にうまく取り入れる恰好になっている。もしラップトップなりタブレットなりが紛失または盗難に遭っても、そこに入っている企業データは、前述の機能によって、それらの機器がインターネットに接続した瞬間に消すことができるからだ。